

元気いっぱい 友だちいっぱい
すずんで学ぼう 夢ついで

横浜市立美しが丘小学校 平成28年 1月 7日



美小通信 9

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 畠山 真
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408



経験というたすき

校長 畠山 真

「キーン。」

新春の空に向かって、太陽が昇り始めた中を飛行機が飛び立っていきます。2016年(平成28年)一月一日、午前六時五十分過ぎ、羽田空港国際線ターミナルデッキで初日の出を見ました。

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今年は、元日の朝も暖冬と言われる如く穏やかな新年を迎えました。私が、新年を特に意識したのは、1999年から2000年になった年です。あの時はたった一日で千年代から二千年代に替わるといふ節目で、これから2000年の世の中になるんだなと実感したのを覚えています。「行く川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず」(方丈記・鴨長明)という「諸行無常」の言葉を思い出し、改めてこの一年を大切に生きていきたいと思いました。

羽田空港からの帰り道、様々な人たちが元旦から働いているのを見かけました。空港で警備について四方に目を配る警察官、早朝から運転する電車の運転士、24時間営業のコンビニで働く若者、今働いている人たちは大晦日から年を越して働いているのだらうと思うと、こうして一生懸命働いている人がいるからこそ初日の出も見に行けるのだと思いました。

さて、この正月はスポーツが数多く放映されていましたが目が釘付けになったのは箱根駅伝です。各大学の選手は、一生懸命にたすきをつなぎ、母校のため、チームのために走り抜いていました。たすきがつながられないで、悔しい思いをしていた年もありました。一本のたすきをつないでゴールすることがいかに大切なことか選手はよく知っていると思います。今年もたすきをつないだ後に道ばたに倒れる選手もいました。おそらくぎりぎりのところまで我慢して走り通したのでしょう。毎年、感動を与えてくれる選手の走りです。

もう一つ私がこの箱根駅伝を見ていてすばらしいと思ったのは、選手を先導する白バイの警察の方の事です。昨年先導した方は、定年退職を迎えるので、今年の箱根駅伝が最後になったそうです。常に選手の走りを考え、自分は裏方に徹し、主役の選手が気持ちよく走れることを願っていたそうです。ある時は、箱根の山で霧が濃く前がほとんど見えない時に、後続の応援の車から、「白バイを見て走れ。」という声が何度も聞こえ、自分の存在を自覚したそうです。この方は、自分の役割を経験というたすきをつなぎ、若い人たちに白バイの先導役を託すことだと話されていました。

学校の教育も1年生から6年生まで、自分たちがその学年で経験したことをつないでいきます。6年生は、あと3か月で美しが丘小学校を旅立っていきます。ぜひ、自分たちが経験したことを下級生の人たちにつないでいってほしいと思います。我々教職員も子どもたちの教育のために、経験というたすきをつなげていきたいと思っています。